

平成24年9月6日
独立行政法人製品評価技術基盤機構

鉄道技術の円滑な輸出がさらに前進 ～ NITEが(独)交通安全環境研究所(NTSEL)を認定 ～

- ◆ 平成24年9月6日、独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE:理事長 安井 至)認定センター(IAJapan)は、国際規格に基づく同機構認定制度(ASNITE)製品認証機関認定プログラムにおける鉄道分野の製品認証機関としては初めて、国土交通省所管の独立行政法人交通安全環境研究所(NTSEL:理事長 飯村 修)を認定した。
- ◆ 今回、NTSEL が認定を取得した製品認証の対象規格は、鉄道分野の RAMS 規格*のうち、安全性に特化し、鉄道信号システム電子装置を対象とした IEC62425 である。NTSEL の製品認証業務は、鉄道認証室が担当している。
- ◆ この認定の取得により、NTSEL は、国際的に通用する第三者評価を得たこととなり、認証を通じて国内鉄道メーカーの海外展開を強力に支援することができると期待される。

- 鉄道技術の海外展開に当たっては、国際規格や欧州等の地域規格への適合性や第三者認証機関による認証が要求されるが、今まで日本国内には認証機関が存在せず、国内メーカーは海外の認証機関を利用せざるを得なかった。
- NTSEL は、製品認証機関が適合すべき国際規格である ISO/IEC Guide65 に基づいて認定された。なお、今後の準備が整い次第、今回認定を取得した IEC62425 以外の RAMS 規格の IEC62278 等の鉄道認証の認定申請にも着手する予定とのことである。
- なお、NITE 認定センターは、製品認証に係る認定機関間の国際・地域的相互承認取り決め(IAF**/PAC***-MLA:Multilateral Recognition Arrangement)に加盟すべく、国際相互評価を受審したところであり、本年秋頃の MLA 締結を目指して対応している。この国際相互承認への加盟ができれば、各国間での製品認証結果の受け入れのための信頼性が一層増すことになり、我が国の鉄道製品認証ビジネスの国際的展開にもさらに貢献することが期待される。

注*: RAMS 規格(信頼性、アベイラビリティ、保全性、安全性を目標指標とし、それらの達成のためのライフサイクル全体のマネジメントを要求する規格)

***: IAF(International Accreditation Forum Inc. 国際認定フォーラム。QMS、EMS、要員、製品等認証機関の認定機関の国際的集まり)

***: PAC(Pacific Accreditation Cooperation 太平洋認定機関協力機構。認証機関の認定機関のアジア太平洋地域の地域機関)

連絡先: 独立行政法人製品評価技術基盤機構 認定センター

計画課 広報グループ 担当 椎名、櫛田

Tel :03-3481-1948 Fax: 03-3481-1937

製品認定課 担当:佐野、村田 Tel :03-3481-1939 Fax: 03-3481-1937

(参考)

1. ASNITE(製品評価技術基盤機構認定制度)の製品認証機関認定プログラム

当該プログラムは、製品安全分野、OIML(国際法定計量)分野、繊維製品分野(カシミア 100%タグ制度)に加え、昨年末から鉄道システム分野を認定対象範囲としており、製品認証機関が適合すべき国際規格である ISO/IEC Guide65 に基づく認定を実施している。独立行政法人交通安全環境研究所(NTSEL)は鉄道分野では初の認定で、ASNITE で認定されている製品認証機関は、計4機関となった。

2. 同プログラムの鉄道分野における認証対象規格(5規格)

①IEC62278(対象は鉄道システム全般)

②IEC62279(鉄道信号システムに関するソフトウェアの安全性に関するプロセスがライフサイクルに沿っていることを規定)

③IEC62280(鉄道信号システムにおいて安全性に関わるアプリケーション間の通信に対し安全性を確保するための要件を規定)

④IEC62425(鉄道信号システム用電子装置を対象とし、ハードとソフトの両面において安全性を実証するためのプロセスがライフサイクルに沿っていることを規定。いわゆる「セーフティケース規格」)

⑤IEC62236(EMC 試験、鉄道システムの地上・車上の電気設備全体及び各部から周辺への電磁界の輻射量、及び信号設備における電磁界ノイズ耐量を規定)